

「丹後地域における府立高校の今後の在り方」アンケート意見記述

◆「統廃合により学校規模を確保し、教育内容の充実を図るべきだと思う」を選択された方

※アンケート調査回答票の「6 府立高校の今後の在り方の方向性として提示した「三つの道」について」のその他欄及び「8 高校の在り方についてお考えのことがあれば自由に記入してください」の欄に記入していただいたご意見を「6」の選択肢別に分類しています。(順不同)

	記述内容
1	地域に密着した学校運営、地元に残って働くことのできる、働きたいと思えるような高校の在り方を考えるべき。都会の学校でないと勉強できないような風潮をやめ、地方の特性を生かした日本初の取組を考えてほしい。
2	府立高校の在り方について検討が始まっていることは知っていたが、内容についてはプリントを読んで知ったことが多い。小・中学校でもそうだが、統廃合ありきで話を進めることは難しいと思う。でも、普段別の校舎で勉強している子どもたちが、必要に応じて交流をといるものなかなか打ち解けにくいと思うし、部活動にしても、毎日一緒に練習してこそ連帯感が生まれるものだと思う。進学する生徒にも保護者にも、様々な負担が増えると思うが、第二案が良いと思う。その中で、スクールバスの運行など保護者の希望を取り入れて行ってほしいと思う。
3	先の未来を視野に入れて、思いきりのある改革が必要だと思う。第二の統廃合の意見だが、どこの学校を残すなどではなく、先進的な校舎を新設すべきだと思う。教師のクオリティを上げる観点も絶対必要。地元の意見も大事だが、英断することも絶対必要。本当の子どもたちの教育・未来・丹後の将来を考えてほしい。大人の事情はもうよろしい。
4	将来の可能性を模索する大切な時期ゆえに、選択肢が少なくなることに対して親としては不安を感じている。
5	公立高校についても府南部との格差が広がっているように思う。南部、特に京都市内は、各公立高校が特色を出し、競い合い、進学実績も高い。丹後地域の府立高校に期待するものはほとんどない。府教委の教員採用配置にも問題は多いと考える。
6	家庭の経済的な事情もあり公立高校にしかならせられないので、公立高校を減らしすぎないでほしい。
7	子どものために充実した教育をさせてやれる高校を維持することが、何よりも必要であると思う。
8	学舎制のメリットがわかりにくい。特に府北部では優秀な生徒が他地域に流れて行ってしまうように思う。高校卒業後、または将来出身地で活躍してくれるある程度の専門性を持った人材を育成してほしい。
9	個性を重視した教育も大切だと思うが、丹後地域以外の人とも競争し、世界とも対等に活躍できる考え方や能力を養う、または入口として位置付けができる場にしてほしい。丹後地域に生活する価値を見出す場となることを望む。
10	できるだけ近くの高校へ入学できるように定員数など考えてほしい。
11	具体的に金銭コストの面についても説明すべき。
12	それぞれの学校の良さを保っていけるような方法がありがたい。
13	いずれにしても、生徒・教員にとって、無理、無駄のない配慮が必須
14	できる限り地域に1つは高校があり、格差なく希望の学科へ行けることを望む。田舎であり、交通の便も悪いので、再編するのであればスクールバス等も検討が必要ではないかと思う。
15	統廃合によって通学の不便さが問題になると思うが、学校までが遠く、特に冬は雪の心配も出てきたりするので、通学が安心・安全にできる方法を確保してほしい。
16	大学や社会に出て行くためのステップである高校の立場を考えると、小・中学校のように、「田舎だから人数が少ない」「それ程競争することもない」という環境は将来的に不安。ある程度の大勢の中で自分をつくり、勉強のレベルも都会に負けない競争意識を付けてほしい。少人数でおだやかに過ごして良いのは中学校までだと思う。
17	学舎制は経費の面で無駄が多いと思う。
18	分校を弥栄に統合することは地理的に困難だと思う。学舎制になった場合、部活動や学校行事等で連携することは現実的には困難だと思う。また、生徒の心情面での心配がある。統廃合した方が良いと思う。
19	これからの子どもたちの減少は確実であり、統合には賛成するが、宮津高校と加悦谷高校となると、学力の面から差が大きく感じられるため、心配。今までの教育方針が変わることなく、学力向上に向けて統合されることを望む。
20	生徒数が減少の一途をたどる状況において、高校の再編、在り方が検討されるのは理解できる。しかし、受検生や保護者にとって、高校の不透明さ、受検の不安定さは精神的負担。早い決断、早い段階で見通しを示して、子どもたち、私たちを安心させてほしい。
21	分校について、学校の場所を教えてください。通学を考えて使用していない小・中学校を活用してはどうか。不登校の子が再出発できるように考えてほしい。
22	子どもの絶対数が減り、高校の定数が減るということは、ある一定仕方がないことだが、それにより、子どもたちが翻弄されていることに不信感を持っている。子どもたちのことを第一優先に考えてほしいと思う。
23	丹後で1つか2つ大きな学校があればいろんな学校から人が集まって、勉強も部活動もみんなもっと頑張れると思う。通学の交通手段の整備もお願いする。バスの最終が早すぎ。電車は通学時間の本数が少なすぎ。与謝野駅の待合所が6時で閉まるってどうなのか。冬寒い中、中学生は1時間ほど外で電車を待っている。
24	教育内容の充実希望と進路保障の実現に向けた高校であってほしい。
25	進学する学校と、就職を目的にする学校に分けて高校をつくってほしい。

	記述内容
26	伝統ある宮津高校に学舎制を導入するべきではないと思う。このままでも人気もあるし、加悦谷高校と峰山高校を統合すべきと考える。峰山、久美浜、網野からもできる生徒はほぼ宮津高校へ通学していると思う。
27	幼・小・中学校とも少人数の学校だったため、学習面も含め、生活面等競い合うことがないに等しくなっていると思う（生徒間で位置付けをしてしまっている。）。少しでも長い時間、多くの生徒の中で切磋琢磨してほしいと思う。
28	冬場など（特に）通学の問題が生じると思う。（統廃合の場合）対応策が必要。小規模が進む一方なので、学舎制を導入しても、これから先、統廃合が考えられる。この際、学校規模を確保されることが望ましいと思った。
29	農業が盛んな地域性を生かして、農業の担い手を育ててほしい。
30	生徒数減少に合わせて高校の編成を考えるとこれは仕方がないと思うが、地元高校への進学を望む生徒も多いと思うので、それに応じた規模の学校編成を考えてほしい。
31	高校に行きたい子がいける学校を。通学方法も考えてほしい。
32	学舎制では、教員や生徒の移動の負担、校舎維持管理の効率に課題がある。また、少子化が進む中で統廃合への移行は避けられず、学舎制が何年もつか疑問である。統廃合案では、通学の負担の課題があると思うが、学生寮の導入や、通学時間帯の交通機関の充実や通勤定期券の無償などの支援が必要。空き教室や校舎、グラウンドなどについては、他の高齢福祉分野などとも協議し、利活用を横断的に検討する。社会性や集団の中での学力向上、充実した部活動を行っていく意味でも、5学級規模を維持してほしい。
33	専門的なカリキュラムもあれば選択肢が増えてよいかと思う。
34	統合することで生徒の居住地域によっては、交通費の負担が必要となる場合、府が補助すべき。また、交通網の整備が不可欠である。
35	懇談会も良いと思うが、たぶん反対の人が参加し、賛成の人は顔もわかるし声を挙げにくいと思う。したがって、アンケートやネットの方が本音がわかると思う。現在の丹後の高校には特に魅力のある学校はなく、優秀な子どもほど丹後から出て行き、他の学校に通っていると聞いている。高校は義務教育ではないので、通学に便利という理由だけで小規模な学校を多数存続させるのは、子ども自身にとってもデメリットの方が多いと思う。全国的に見ても統廃合するのが自然の流れ
36	生徒数が減少することをプラスと考え、質の良い教育をお願いしたい。
37	特化した学科を選択するには遠距離となることもあり、下宿や寮といったもののサポートも必要
38	親としては自転車を通えるところに学びたいことを学べる学校があってほしい。学舎制については具体的なことがよくわからないのでなんとも言えない。日によって網野高校に通ったり、久美浜高校に通ったりということか。網野高校と久美浜高校で同じことを学ぶのか。メリットを言うのは良いが、デメリットもしっかり説明してほしい。
39	小学校、中学校の再配置が進む中、高校の統廃合も必要なことと思う。
40	普通科教育は縮小させず、専門分野については縮小しても良いと思う（専門分野は大学や専門学校で知識と技術を向上させると良いと考える。）。
41	説明を聞きに行ったが、話し方が学舎制ありきだったことが不満だった。高校だけでなく、小学校でも再編が進んでいて、子どもが減っているのでも、地域から子どもの声がなくなっている地区もあると思う。地区にとっては寂しいが、それが現状である。子を持つ親としては、高校をまとめて都会・社会に出ても打ち勝てる心の強い子になってほしい。部活動をあきらめたりしなくて良い。勉強も自分のやりたい部活動もしっかり両立できる3年間がつけれるよう、いろいろな考え方のある生徒になってほしい。大人の視点からではなく、子どもたちのために、子どもたちの目線で考えてほしい。
42	短期的な見通しによる在り方の検討（再編）ではなく、一定、中・長期的な見通しの中で、再編を進めるべきである。少しの再編では、すぐに再び生徒減による再編が必要となる。今回思い切った「大きな再編・統廃合」も実施すべきだと考える。学校として「活力ある学校」でないと、子どもたちが夢に向かい、前向きに学校生活を過ごす気持ちにならないのでは。
43	人数確保の上で、しっかり学び、子どもたちの未来をつくりあげるべきである。分校等についても、以前のように学ぶのに経済上の理由のための必要性がない。経済上のほか、親の問題で学べない子どもたちには、無償の学生寮を用意し、個人に援助し、学んでもらうシステム。学ばずに、分校でも行けるといいう考え方を変えるべき（親も子も）。学力によってはランクはできるが（今でもある）、普通校で学ばせるべき。
44	勉強をしたい子どもたちが、レベルの高い環境でスポーツ、勉強ができるようにしてほしい。
45	学舎制はデメリットの方が重大、重要
46	統廃合は仕方がないことだと思うが、大きいのをつくれば良いというものではないと思う。大人数になれば、子ども一人一人に先生の目が行き届かないと思う。
47	都市部との学力の格差がなくなるよう、教職員、学校が意識改革をしてほしい。
48	学校を減らす場合、子どもが希望する高校に通いやすい環境づくりに配慮してほしい(過度な通学時間にならないように交通の利便を)。
49	丹後という土地の良さが学べ、その良さをわかった上で、地元就職するなり、都会へ出て学んだり、働いたりできるような高校であってほしいと思う。
50	生徒数は減っても、普通科志向の生徒は減ってはいないのが現状である。今回の普通科定員減は大変衝撃である。
51	学舎制は良いとは思わない。統合してでも、人数確保に重点を置いてほしい。学習以外の集団活動のためには、ある程度の人数が必要で、その中で起こる様々なことが、生徒の人間性を高めることにつながると思う。
52	大学進学への対応とともに、将来何になりたいか、どのような人間になりたいかを早い段階で具体化できる学校

	記述内容
53	学校間の距離があるため、学舎制は大変ではないか。生徒（教師）の移動など無駄な時間が出てくる。地域の中央部に新たな学校をつくり、1つにまとめればよい。
54	高校の統廃合は致し方ないが、丹後の地域性を考えるとき公共交通機関が少ないため、通学圏が広域になることへの配慮（スクールバス等）も同時に考えるべきである。先日、峰山高校の普通科募集定員減のニュースを新聞で読み、商・工・農業科等の専門学科と普通科の人数比率が昔と比べて専門学科の比率が上がっており、今後、また上がるのではないかと危機感を持った。15歳の受検の年に、自らの長期にわたる将来設計が描ける子どもは多くないと考える。将来の選択肢・可能性を増やしてやるためにも、普通科の定員が減ることがないようにお願いしたい。専門的な教育は、高校から先の大学、短大、専門学校等で行いたいと考えている。
55	単に専門知識を身につけさせるだけでなく、社会に出た時に、周囲の人たちときちんとコミュニケーションがとれる人材を育てていくことが高校教育にとって大切なことだと考える。
56	再編するのは仕方がないが、通学費・方法等の支援を考えるべきである。
57	これから京丹後市の人口がどんどん減少する中、生徒だけでなく、納税する成人の人口も減少する。その中で、今進めている学舎制で何年くらい生徒数が保たれ、統廃合と比べて年間どの位の費用がかかり（バス代、人件費など）、統廃合ではなく、学舎制にすることの方が、生徒の教育活動や部活動の充実になるのかは疑問。教員の負担や会議などの連携など、学舎制だと大変なのではないか。
58	学舎制が機能するとは思えない。生徒数が減る中、統廃合で対応すべきだと思う。学舎制における野球やバスケットボール、サッカーなどのメジャーな団体競技は、小学校段階から地元で育てた子どもたちが他へ出て行く。地域で組織的に育てていくという制度でなくなっていく、実施及び発展は望めない。練習時間・場所の制約はもちろんあり、チーム内の連携強化は図れない。久美浜高校のカヌー、網野高校の体操・レスリングを残したい意向が働いているのか。数多くのメジャー競技で頑張っている生徒がしっかりと取り組み、技術的にも向上できる再編ではない。スクールバスを活用しても時間の制約があり、短時間の練習に陥る。講習や行事の取組で乗車できない生徒は、遅れてでもクラブに参加できないのか。また、教育内容も充実するとは思えない。結局のところ「本校・分校」の組み合わせと同様になり、学舎制は形骸化すると感じる。痛みを伴うかもしれないが、中途半端な改革にせず、長期的な視点で統廃合を勇気を持って行うべきである。
59	大学進学に都会と差のないよう教育してほしい。学校ごとに差をつけていくのは良いと思う。
60	学舎制の考えには賛成だが、それによって何かしらの負担が出てくるようであれば、再度検討すべきだと思う。
61	仕方がないと思っている。ただその中でも、将来の選択肢が狭まらないようにしてほしい（高校選びで専門学科へ→その道しかないというは）。
62	人数があることで学ぶことも多いはず。学舎制にした場合、教員の移動はともかく、生徒同士の交流が、部活動以外で多くとれるのか。多くの生徒が、交流を通じて将来社会に出てからコミュニケーションに困らないようにしてほしい。
63	通学圏内（自転車等で）に府立高校があるのが本来なら望ましいと思うが、それを確保するために、入試で点数がとれなくても合格できるのはおかし。圏外の者が高得点なのに入学できなくなると、高校のレベルが落ちると思う。
64	少子化に伴い、一番生徒数の減少が著しい分校3校の廃止を早く進めるべきだと思う。
65	通学のしやすさ等をもう少し交通機関と上手くしたら、選択肢が増えて良いと思う。
66	高校卒業後、進学して地元を離れ、そのまま都会で就職という流れが多いと思うが、地元で就職してもらえる、地元の魅力を伝えることができる科（旅館業に就く若い人を育てる科、マナーや接客に特化した）を創ったりしてはどうかと思う。地元で若い人が多く住んでほしいので。
67	景気も悪く、税金のことを考えると、少子化もあり、統廃合は必要だと思う。通学の負担は子どもにとって大変だが、維持費で税金が多く使われるのはどうかと思う。
68	教育もすごく大事である。そして、子どもたちが過ごしやすい、勉強しやすい環境を、家庭でも学校でもつくり、見守っていくことが必要ではないかと思う。
69	統廃合や再編した場合の近くに学校がない地域の生徒の支援を十分に考えてほしい。高校を選ぶ際の選択肢も必要だと思う。
70	ある程度の規模は必要だと思う。通学の費用格差を是正する交通手段がほしい。
71	少子化だから真剣に考えていかなければならない問題だと思う。
72	学舎制にして行事等はスクールバスで連携するというが、スクールバスでの移動時間は無駄だし、交流程度で終わり、人間関係の構築等は、同じ校舎で長い時間をともに過ごすことで生まれるのではないか。結局、聞きなれない、よくわからない学舎制を嫌がり、峰山高校に一極集中するのではないか。
73	現在の各高校のレベルやイメージは根強く残るので学舎制には反対である。
74	生徒の数が減るのだから、高校の数が減るのは仕方がないと思う。どの地域からも交通の便がなくなると、市の管理でスクールバスを頻繁に出してほしいと思う。
75	交通の利便性もあわせて検討してほしい。
76	少人数より規模を確保した方が得られることが多いし、子どもの選択肢も増えると思っている。通学で大変な負担はあると思うが、学校自体のまとまりなど、結果として良いのではないかと思う。
77	一定の学力を持つ受検者を全て入学させてほしい。進級、卒業は本人の取組み次第で、高校進学もできないければ、子どもの貧困、貧困の連鎖は断ち切れない。通学費の負担についても考慮してほしい。教師の削減（職場の確保）の心配より、子どものことを優先して、将来地域の担い手となる人材の育成を考えてほしい。
78	教育にはお金がかかるので、世間の要望を全て聞く必要はないのではないか。
79	峰山高校の定員数（普通科）の増加。網野高校の企画経営科を峰山高校の中に取り入れ、クラスを増やす。（例）第1希望がアドバンス、第2希望がスタンダード、第3希望が企画経営か産業とできるようにし、当日の試験の点と内申点で、どれかの希望のところに入れるようになると良いのだが。

	記述内容
80	統廃合にしても、学舎制にしても、課題は通学手段も大きいと思う。一番不安に思うのは、通学手段である。高校の数がいずれにせよ減るのであれば、学校規模を確保することも重要なことだと思う。
81	他府県から来たが、京丹後市は教育レベルがかなり低い。塾に頼らなくても国公立大学に合格できるシステムをつくってほしい。
82	統廃合はやむを得ないが、通学手段の確保が整ってからすべき。
83	学舎制は地域に校舎を残すが、移動を考えると非現実的。部活動も公式戦に出場可能というが、練習にあたって校舎間の移動時間のロスはどうか。時間の確保は。それなら統廃合して人数を1校にある程度集約する方が、何かにつけて合理的だと思う。小・中学校と同じく、統廃合はある程度仕方がないことと保護者として思う。
84	やむを得ないが、通学手段の確保をしてだろう。
85	昔とは違い、現在は高校生の時から将来を明確にしなければ、その後の進路に影響が大きい。その時代にしかできないことを先に考えて、大人は学びの場を提供してあげられるよう望む。「この方がお金がかからないから」「この方が運営上効率がよいから」など、大人の事情ではなく、子どもたちのために大きく考えてほしい。
86	経済的理由から公立高校への進学を望む子どもや親は多い。定員があるかもわからないが、勉強についていけない子どもは全員入学できるように考えてほしい。
87	無理矢理「学舎制」という形で地元の高校を残しても、先生・生徒の移動に時間がかかるし、その道中で事故等があったら大変だと思う。寂しい気持ちも理解できるが、思い切って統廃合するべきだと思う。
88	通学における負担増が一番の気がかり
89	京丹後市内の子どもくらい、京丹後市の学校に行けるくらいの枠はあってほしい。高校くらいは家から通わせたい（その先は嫌でも外に出さないと、丹後には学校がないので、その先にかかるお金のことも考えると）。親子一緒に過ごせる時間、丹後の家庭は短い。
90	通学バスの充実
91	学舎制で部の人数確保ができたとしても、団体競技でチームワーク、コミュニケーションを高めるのは難しいのでは。
92	わが子が高校生になったとき、行きたい学校に入れるのか、ものすごく心配である。
93	子どもが少なくなってきているので、学校が減ってしまうのは仕方がないと思う。しかし、それが不便だ、大変だと思わないような高校にしてほしい。
94	少子化の中で、高校の統廃合や再編は仕方がない流れだろうが、通学エリアが拡大するであろうことを踏まえ、公共交通機関の充実やそれに代わる通学手段を検討してほしい。
95	「地域活性化に果たす高校の役割を期待する声」ではなく、高校生のことを一番に考えてほしい。
96	学舎制はやってみないとその弊害はわからない。久美浜高校と網野高校は近いようで遠いし、部活動などは成り立つのか疑問。1つの校舎で学ばせる方が良いと思う。小・中学校のように統廃合が望ましい。
97	現在の各校の特性を生かせるよう、部活動などの一押しのもので残してほしい。
98	生徒数減少により統廃合は必要だと思うが、学力の低下、質の低下、部活動に影響が出ないようにしてほしい。通学用のバスを増やすなど遠方からの通学をしっかりと考えてほしい。
99	子どもたちのことを考えて、よりよい環境をつくってほしい。選択肢もできるような編成を考えてほしい。
100	子どもの減少により、規模を縮小するのは仕方がないかもしれないが、通学が負担になるのは当然のことである。都会ほど本数があるわけでもなく、金額も高額になり、家の負担は増すばかり。1時間に2本、スクールバス等遅い帰宅の部活動に合わせた、子ども、家族に負担のない通学環境を整えてもらえば、統廃合も仕方がなし。
101	学舎制については断固反対である。
102	不登校の子どもが増える中で、学習面だけでなく、一人一人の子どもが通いやすい学校、システムにしていくことも必要かなと感じる。
103	生徒数の減少とともに、高校の統合は仕方がないことだと思うが、そのために通学が遠くなりすぎるのも大変だと思う。
104	先のことだと思いついてまだ何も考えたことがなかったので、今後考えます。
105	子どもの減少とともに、学校を統廃合するのは良いのだが、子どもが安全に通えるようにスクールバス等はぜひ入れてほしい。
106	説明がわかりにくい。総合学科、企画科、産工科はいらぬ。統合する方向で通学支援を充実してほしい（金額面、本数）。私学は保護しないとイケないのか。
107	現在、学舎制が有力だと理解しているが、実際は「分校」のような位置づけになり、学舎間の交流は難しいと考える。現在、校舎にある施設・設備を有効に活用し、例えば大学のように、2年生からは専門教科授業を増やし、週に3日はそちらのキャンパスに通う等していくのも良いと思う。最初から別々の校舎に通うのは有効ではないと思うし、部活動もやむを得ないが、柔軟に対応していくしかない。例：朝練は行ける人だけ行き、強制しないなど
108	地方だからと言って学力が低下することは望ましくないもので、教育内容はしっかり充実したものを願いたい。また、高校によって差がありすぎるのも困る。荒れているのも困る。丹後にある高校はどの高校でもしっかり学べるものが良い。
109	せっかく総合学科をつくり、成果を出しているのに、学舎制にして網野高校と久美浜高校を統合してしまつたら、意味がないというか、よくわからない。普通科も必要だが、職業科や総合学科もうまく残せるようにしてほしい。
110	通学距離が長くなるのが不安である。
111	決定事項の連絡もしてほしいが、決定前に方向性も連絡してほしい。
112	生徒の半数ほどは海外からの留学生とし、丹後における若者の国際文化教育の機会とする。大学を海外の大学等への進学を視野に入れた学校体制にする。

	記述内容
113	大学に進学するにあたって、最低限のことはどこの高校でも高校のうちに教えておいてほしい。
114	普通科の学校がどんどん遠いところになるようで心配。十分な学習環境と安全に通える高校を望む。
115	学舎制のメリットは、通学の利便性が良いのはわかるが、その他は統廃合した方が授業も部活動もよくなると思う。行事や部活動など、学舎間を移動する時間が往復1時間程度かかり、効率が悪いと思う。メリットを感じず、ややこしいだけだと思う。でも、地元で高校がなくなると、交通の便が良いわけでないし、周辺地となってしまうと交通費の負担が増える人が多くなる。今まで自転車で通える高校も選択できたのに、選択肢にすらなくなる。交通費の補助はどうなるのか。学舎制にしたら、具体的にどう良いのか。移動時間の非効率を超える良いところを教えてください。部活動以外ではどう良いのか。説明書の内容では説得力に欠けると思う。
116	自宅から自転車等で通える高校が少なくなり、通学の負担も気になる。学習環境も普通科が近くにないことも心配
117	定員数を減らすことにより、希望しても入れない子が増えるのは避けてほしい。交通の便が不便なので、自宅から近いところに通わせたいと思うのは、皆だと思う。
118	少子化の流れの中、幼保、小学校でも同様に統合が進んでおり、クラス数、生徒数が増えることは、適度な範囲なら子どもの成長につながるので良いことだと思う。統合することで高校に行けなくなる子が増えるのは絶対にあってはならないが、選抜された優秀な先生が多くなるなら統合しても良いと思う。
119	統廃合を選択したが、遠距離通学となる者への交通費補助と交通網の充実が前提。キャンパス制は中途半端に思う。
120	生徒数が減っていく中で、教育内容の充実を確保するためには、統廃合していくしかないと思う。
121	生徒数の減少が原因で高校のレベルが下がれば、進学する時に、他校との差がありすぎて困ると思う。高校を統合する解決だけでなく、もう少し何かできないのか。
122	ある程度の学校規模が教育の充実には必要であると思うので、在り方の見直しは仕方がないが、最も気になるのは地域的に公共機関が充実していないので、子どもの通学の不便さが生じることである。スクールバス等での対応では、時間の制約があり、家庭の送迎が不可能な子どもは大変窮屈な通学等をすることになることを十分検討して在り方を考えてほしい。
123	学舎制も良いと思うが、日々の部活動とかはどうなるのか。試合だけ1校として出場ではチームワークはどうになってしまうのか。
124	少子化が進む時代、高校の受け入れ方も昔に戻して、例えば、その地区に普通科があるところは他の地区の普通科に入れないようにする（大宮・峰山は網野・久美浜高校に入れないようにする）など。例えば、毎年定員割れをするなら、とりあえず合格者を増やして、高校は義務教育とは違うので、入ってからふるいにかけた方がいいと思う。
125	公立高校通学のためのスクールバス（有料）を整備したら良いと思う。
126	学力に応じて入学できることが良いし、子ども的人数で統廃合、再編するのは良いが、教育が濃くなるようにしてほしい。
127	子どもが混乱しないような教育環境を優先して検討してほしい。子どもには将来があるので。
128	高校の存在が地域の活性化や将来の人材育成につながるような在り方の検討をしてください。
129	学校を学舎制にすると正規の先生が減ってしまうこともあり、きちんと先生を確保し、教育内容を充実してほしい。学舎制では通学の利便性と言われているが、わが子が行きたい学科が遠く、通うのが大変になることもあるわけで、決して（学舎制にすることで）親の負担が減るわけではない。親は子どもの将来のために何が一番良いのかを一番に考える。また、部活動をあきらめてしまう子も出てくるのではないかな。強い精神力をつけるためにも、部活動と学力（勉強）を両立できるように。レスリングがしたいから網野高校。でも学科は...とか、カヌーしたいけど（行きたい）将来進みたいのは...など、何かをあきらめてしまうような学校づくりはやめてもらいたい。学舎制になって数年後にまた再編、なんてことでは話にならない。子どもたちが安定した高校生活が送れるように願います。
130	だんだん生徒数が減っていくから統廃合は仕方がないと思うが、京丹後市は広いし、冬は雪が降る。京丹後鉄道やバスも本数は少ない。教育にはお金をかけ、学ぶことができる環境を与えてほしい。
131	子どもたちの選択の幅が狭くなることは、特に何においても不便な北部地域において不利益だと思う。交通の便、通学費の面。公立高校に行きたい。行かせたい。親や子どもの思いを大切にもらえればと思う。
132	部活動、生徒同士の交流などを考えると、統廃合して学校規模を確保し、お互いを高め合うべきだと思う。学舎制は中途半端で小規模校と同じ。統廃合して子どもの教育の質を高めるよう検討してほしい。また、交通の便が悪いので、通学時間だけでもバス・汽車の本数を増やしてほしい。
133	京丹後市の少子化が急激に進むにあたって、各高校の特徴や進学率などが明確になってきている。高校入学時点で大学に進学することを決めているようにも思える。高校によっての差（学力）（部活動）が今以上に明確になるのではないかと考えている。
134	学舎制で日常の授業はできるようだが、部活動のために学舎間を移動することには無理がある。宮津高校には京都丹後鉄道宮津高校駅を新設し、与謝野町・京丹後市から通学しやすいようにしてほしい。福祉、工業、建築に関する教育を網野高校で再編する。
135	大学への進学が簡単になった今、就職を見据えた専門的な勉強が必要かと思う。
136	京丹後市以外の高校の特色も踏まえて、受検する子どもたちの“学びたいこと”が多く選択できる地域であってほしい。
137	専門的な学習ができる学校が増えると、そこから子どもたちが将来の夢や仕事につながりやすくなるように思う。
138	各校、生徒数の確保が必要だと思うが、1クラスの人数を減らすなどして、学力の向上を目指してほしい。学校数については、各市、1校は確保してほしい。
139	生徒が減少する中、統合しなければ教育できないとは思いますが、通学手段が問題になってくると思う。女子の登下校が特に心配である。

	記述内容
140	地元(地域)の産業が発展しないと、生徒たちが地元就職できず、丹後地域は過疎になっていくと思われる。分校を1つにまとめて清明高校のようにするのであれば、ぜひ、新校舎や最新のIT機器等で学習できる環境をお願いする。また、単位制はこの学校のみとし、他は全日制であってほしいと思う。普通科志向が根強いことではあるが、普通科ですべての科目(職業科目や観光科目その他の科目)等の1~2科目勉強しただけでは、職業(仕事)に対する責任感は育たないと思われる。また、地域の産業の協力なしでは高校教育を進めていくことはできない。ぜひ、インターンシップ等、地元で生徒を育てる丹後になってほしいと思う。
141	ある程度の規模を保たなければ、やりたいことが見つからなかったり、できないのではと懸念する。学問は第一だが、社会性も身に付けてほしい。
142	交通をもっと便利にして、通いやすくなることも検討してほしい。
143	近い学校がなくなったり不便はあるかもしれないが、生徒数が減少すれば、子どもたちの活動の幅も減ると思う。教育の充実を考えると、統廃合も仕方がないのかなと思っている。
144	近隣の高校の数が減るのは仕方がないが、その分、通学が大変になると思う。その点を充分支援してほしい(通学バス等)。
145	発達障害の子どもは(診断名はついていない子、傾向のある子も含み)とても多くなっている。社会に出て、生きていく、働いていくことができるようにするための高校の在り方も検討が必要。また、都市部より、もしくは同等の教育レベルの確保はさらに必要
146	高校も義務化して、全員が卒業できるようにすべき。
147	通学条件を整えてから実施すべき。皆、基本的に駅から遠い家。学校くらいは駅などに近いべき。
148	学舎制は授業を受けるのには良いと思うが、行事や部活動の合同実施という面では、十分な時間と、生徒間のつながりが築き上げられない。
149	進路決定について、15才(中学)は様々に悩み、親も行きたい(本人が)学校に行かせたいし、また、選択が多い方が希望や夢につなげられる。できるだけ地域差なく、誰もが等しく平等に通学できる方法があれば良いと考える。
150	中高一貫等も含め、各高校の教育内容(学科)を充実させ、違いを明確にさせるのに賛成。北部教育の充実にと福知山高校に中高一貫はあるが、遠すぎる。福知山高校は広域すぎると思う。不公平さを感じる。
151	もうすぐ受検だが、先が見えずとても心配している。
152	高校の数が少ない上に、減ってしまうと子どもの選択ができなくなり、可哀想に思う。できる(勉強が)子には上の教育を。また、できない子にもその子にあった教育ができるように工夫してもらいたいと思う。私は大阪出身なので丹後のようなところは視野が狭く、悲しいことだと思う。
153	学舎制のデメリットは書いてないが、移動に時間がかかり、授業の中身が希薄になる。または、進み具合が大学受験に影響することはないのか。北部地域では学力レベルが低いので、進学校に行く場合には、どうしても時間(移動が車になる)が限られていて、希望を断念させてしまうことがある。遠方からの通学者には、寮が必要だと思う。
154	中2の子が在学中に変わってしまうことに不安を感じる。行きたくて行った学校に3年間通えるのか、よくわからないだけに不安である。
155	統廃合は仕方がないことだと思うので、統廃合することによって近くの高校がなくなり、バスや電車での通学になるのなら、その辺を充実してほしい。
156	各学校で特徴があるのに、学舎制を導入されると、今後の方向性がわからなくなり、進路選択に不安が出てくる。学舎制にするなら、具体的にどのような方針で高校教育が行われるのか、明確に示してほしいと思う。
157	統合にしても、今までのように、学力、クラブなどのレベルが落ちたりしないようにしてほしい。
158	統廃合で教育内容の充実を図ってほしい。年々生徒数が減少していく中、学舎間で交流するよりも、統廃合して一体感を体験させる方が良いと思う。学舎制のメリットとして挙げている、合同の部活動によって人数が確保でき、とあるが、いつまでも続けることができると思えないので、初めから統廃合したら良いと考える。教師の人数も削減していくことは、生徒数の減少に伴い、避けられない課題だと思う。
159	人間としてこれから大人になり、自分として生活するにあたり、方向性を考えるのに大切な場所だと思う。大切な先生との出会いの場所でもある。田舎だからではなく、ちょっと余裕を持った教育を求める。
160	久美浜高校を網野高校と統合。間人分校と弥栄分校を統合してはどうかと考えている。
161	段階的に少しずつ統廃合しても、今後のためにならないと思う。
162	学舎制がいまいちイメージしづらい。峰山高校を単独校とせず、丹後3校で在り方を考えた方が良いかなと思う。
163	教育内容の充実はもちろん、京丹後、与謝地域の学力低下についても検討すべきである。中学校、高校の教職員は、土日部活動指導で実質的な休日は少ない。再編や統廃合の際に、部活動の種類や外部講師など、強化指定などして負担も考えるべき。
164	通学バス等、保証した上で、統廃合を選択。学舎制は苦肉の策のように思える。同じ学校で学び、クラス替え等、多くの生徒と交流を深めることが大切なのではないか。顔も見たこともない(よく知らない)同級生というのは不自然だと思う。久美浜高校、もしくは網野高校の廃校はやむを得ないと思う。遠隔授業なんて、授業と言えるだろうか。
165	現存の学校の特色を残したまま統合できれば良い。(例)網野高校体操部、峰山高校軽音、久美浜高校ボートなど。統合によってなくなってしまうのはもったいない。
166	親元から離れる(大学へ進学したり、就職したり)前の大事な3年間である高校生活は、小規模の学校生活を送り続けていると社会になじめない、社会で通用できない人間をつくる気がする。学校規模、多人数の確保の中でもまれ、巣立ってほしい。
167	今まで統廃合が全くなかった中で、いきなり丹後の全高校の学舎制、フレックス学園構想は考え方が厳しいと思う。もう少し、中学生に対しても柔軟な変更が必要ではないか。

	記述内容
168	峰山高校と久美浜高校を残して網野高校を廃校にする。
169	何年かは学舎制を導入するメリットはあると思うが、子どもの数が減少する一方なので、最終的には統廃合することになると思う。それならば、今、統廃合をした方が効率が良いのでは、と思う。
170	高校も統廃合は必要だと思うが、やはり交通手段が問題で、生徒が通いやすい方法を考えていかないと、と思う。あと、ある程度の生徒数がないと高校生活も充実しないと思うので、キャンパス制ではない方が良いと思う。
171	学舎制は絶対必要ないと思う。
172	統廃合、学舎制の場合は、通学費用の補助金や公共交通機関の路線（バス停含む）見直し等を考慮しないと、過疎化に直結してしまうと思う。
173	網野高校と久美浜高校を統合して、生徒数の確保以外にメリットがあるのか。せっかく総合学科をつくり、成果を上げているのに、この先学科再編がどうなるかわからないが、今までの意味がなくなるようなことはやめてほしい。普通科が必要なのはわかるが、子どもたちにいろいろな選択ができる高校をつくってほしい。
174	実際に改革を進めて行く方は、「自分の子が」という目線で進めてほしいと願います。学力が都市部と比べて劣らないような指導をしてほしい（親も頑張りますが）。
175	学舎制は統廃合をいきなり行うことの反発を回避しようとしているだけに映る。実際は、宮津高校に普通科、建築科、峰山高校に普通科、産業工学科を置き、それ以外の専門学科は久美浜高校に総合学科を置き、系列の改編を行うことで対応できる。学舎制による生徒・教員の負担は有益であるとは思えない。
176	将来に向けて自ら学ぶところ。勉強したくなかったら別に高校に進学しなくても良いと思う。誰もが進学できるようにになっている。最近義務教育の延長という感じになっているように思う。
177	久美浜高校を廃止すべきと考えるが、「総合学科」という特殊性の制約があり残さなければならないのなら、網野高校を廃止し、峰山高校の定員を増やすべきと考える。キャンパス制など無理があると思う。
178	教育内容の在り方が昔より変わってきているのは確かなので、より充実した内容にすべき。
179	学舎制で確保できるのは通学の利便性のみである。学舎間の交流・連携は不可能だし、ICT機器を利用した授業をするなら、有名進学塾の講師をお願いした方が良い。合同部活動のために毎日学舎を移動するのか。通学の利便性と矛盾している。フレックスタイムを考えているのだろうが、名前だけカタカナにしても仕方がない。
180	「学舎制」は部活動等、生徒が移動しなければならず、不便。また、1つの学校としての統一感、また、学生同士の一体感もなくなるような気がする。
181	個々の能力を生かした教育を都会とは違う見方で伸ばしてやってほしい。人数が都会よりも少ないからできることである。少数学校、良いところを。
182	学舎制を導入した場合、学舎間の移動をしなければならないことが実現可能なのか疑問に感じる。距離が離れているため、時間的にも生徒にも負担になるのではないかと不安である。統廃合で学校数が減るが、各学校の募集人数の割合が今と変わらないのであれば、統廃合してしまった方が、後々便利なが多いのではないかとと思う。
183	進学をする際に、自分がどの道に進みたいか、で学校を選べる専門性を持った学校づくり。丹後地域にも一校、中高一貫校を。通学の環境の整備、スクールバスなど。
184	学舎制は何の解決にもならない。名ばかりの「1つの高校」である。実際は学舎同士の距離があり、年に数回交流するのがオチである。統廃合して遠方の学生のためにスクールバスを走らせる等の方が、1つの校舎での集団活動ができる。本当の集団活動はこれである。同封プリント、学舎制のメリット欄について、教員の移動は無駄な時間。ICTも学舎制でなく統廃合であれば不必要。部活動の日々の練習は、どこでどうやってやるのか。学舎制ならではのメリットがひとつも見えてこない。
185	少数で勉強するのは反対である。末っ子のクラスが10人なので、多い人数で勉強することの大切さをすごく感じている。部活動も、やりたいスポーツをやらせてやりたい。人数が足りないのでできないというのは可哀想である。
186	統廃合により通学が困難になるため、バスや電車などでの通学がスムーズにできるように、時間や本数の調整が必要だと思う。部活動で朝早い時や帰りが遅い時も、各家庭の送迎が必須になるようでは困るので、公共機関で通学できることが希望である。統廃合された高校の定員が少ないと、もっと遠くの高校へ通う学生が増えることになるので、定員を減らし過ぎないでほしい。
187	少子化の地域なので仕方がないことと思っている。ただ、この地域は高卒後の進学でほぼ一人暮らしは避けられず、経済的負担が大きいのに、これからは高校から通学費など、近くの高校であれば必要でなかったお金が必要となってくる。また、交通網も悪く、結局、大人の送迎が必要になったりすると、仕事内容も考える必要が出てくる。府立高校問題はそういったこともある、ということもしっかり議論してほしい。
188	加悦谷高校にあったようなスポーツコース・学科を他の高校にもつくってほしい。
189	学校によって学力の差があるのは仕方がないが、子どもが学ぶ高校には選んだ高校に関わらず、良い教育を受けさせたいと思うので、統廃合、学舎制も仕方がないと思う。
190	学舎制にした場合、例えば、加悦谷高校と宮津高校の学力レベルの位置づけを明確にしてほしい。現在と同様に、偏りが発生するのであれば（小規模校でも本校継続）と同じで、何も変わらないのではないかと。
191	加悦谷高校を廃校にする場合、宮津高校、峰山高校の定員を増やす等、与謝野町の子どもたちの受け入れを強化してほしいと思う。また、通学等の負担も増え、家計にも響いてくる。スクールバスの検討も考えてほしい。
192	学舎制での部活動はどのように維持していくのか、検討してほしい。
193	通学のことを考えても加悦谷高校か宮津高校か。迷わず宮津高校を選ぶ。進学を考えると福知山高校が良いと思う。でも遠い。丹後でも希望の大学へ進学できるような、きめ細やかな指導をしてくれる高校に行かせたい。

	記述内容
194	社会に求められる教育への対応。地元への高卒生徒及び進学後のUターン希望者への求人促進。大分改善されているかもしれないが、特徴を伸ばす教育には現在の教育制度はほど遠い。出る杭を打つのではなく、出ている杭をますます伸ばす教育をしないと、田舎はますます人口が減る。
195	経済的なこともあり、公立学校が減ることは残念である。ただ、学力が落ちるのも避けたいので、やはり特色のある学校づくりが大事かと。
196	大学進学に対応できるだけでなく、幅広く選択できるように教育してもらえ環境であってほしい。
197	教育内容を充実させ、卒業すると免許が取得できる等、専門学校的な部分を増やしてやってほしい。大学や専門学校に進学する前の大事な時期だと思うので、専門的な教育の科を増やし、学校に進学しても一から勉強するのではなく、少しは身に付いていると強いと思うので、そういうところに力を入れて教育してほしい。
198	分校が必要かどうか考える時期にきていると思う。交通手段が不便なことが多いので、補助してもらって制度を整えば、統合や再編をしていく方が良いと思う。
199	学舎制において、現在の高校のレベルを引き継ぐのであれば、生徒に与えるメリットは大きいものにはならないと思う。身近にいてこそ刺激し合えるのでは、と思うので、学校規模の確保は必要であると考ええる。
200	府民、生徒の減少で、府税の確保も困難な時代がくる。学舎の維持を含めた低予算で、しっかり教育できる体制が必要。学舎維持費を活用し、通学支援を行い、学校再編を行うことが必要と考える。
201	福知山高校のように中高一貫はつくれないのだろうか。学力ある子は伸ばしてあげたい。
202	私(母)自身、丹後地域の出身ではなく、それぞれの学校の特色や学科をいまいち把握できていないが、生徒数減少に伴い、統廃合されるのは仕方がないことだと思う。遠方からの通学ともなるし、安全性の確保等充実させてほしい。
203	北海道などのように、学校から遠い子どもは下宿するようにするなど環境を整えて、どのような子にも高いレベルの教育が受けられるチャンスを与えるべき。
204	宮津高校、加悦谷高校が1つになった場合、学校教育レベルを下げてもらえるのか。宮津高校の進学校レベルだと難しい。進学できない、きっと。
205	統廃合により、通学できる交通手段を確保していく。新入試制度に変わり、公立高校のランク付けが明らかに数字になっている。その現状があるため、学舎制にした場合、それぞれの学校で学力の差が出てくるのではないかと。地域のことを考えれば近隣の高校に通学できるのが一番だが、現状は厳しい。
206	統廃合、学舎制、本校継続、それぞれのメリット・デメリットがわかりづらいので、もう少しそれぞれのメリット・デメリットをわかりやすく説明してほしい。
207	懇談会の開催場所と日程が少なすぎて選択できない。仕事をする親の都合も考えてほしい。懇談会に一度も参加することなく決定されても困る。
208	今後子どもが減少していく中、統廃合は仕方がないと思うが、地域(与謝野町、宮津市)に一校は存続してほしいと思う。
209	教育内容を充実してほしい
210	少子高齢化の進む中、子どもたちの居場所ばかりが縮小されていっている気がする。やはり子を持つ親として、学校など充実した環境においてやりたいと思うし、統廃合より、より充実した環境をつくって、田舎離れを防ぎ、人口を増やしてほしい。スーパー等と同じで、寂しい陳列棚の並んでいる店では客も減るのかと。若者が減っては高齢者をサポートしていくこともできない。これからはぜひ若者層を増やしていく政策を期待したい。
211	まだよくわかってない。
212	近くの学校が残ってほしいとは思いますが、子どもが将来的に、よりよく過ごせるように、財政的にも負担が少なく済むようになれば良いと考える。
213	北部地域の看護師、また介護に携わる人の減少
214	学校を統廃合するのであれば、それぞれに格差のない学校づくりをし、今まで以上に質の高い教育を行えるような体制を整えるべきだと思う。そして、子どもの数が少ない分、個人を尊重したこまやかな対応が望まれる。
215	クラスが減り、人数も減ると、クラブなどにも人数がなく、クラブの数にも限りが出るので、やはり少人数より、ある程度の人が必要な方が学校づくりができると思う。
216	フレックスなどよくわからない。通学を考えると交通の便など不安はいろいろある。将来を考えて高校を選びたいのに、高校に対応能力がないなんて。それは困る。
217	丹後地域での「キャンパス化」は物理的に現実的でない。
218	定員割れしている状態と聞いている。このまま運営すると、職員の数もいるし、運営費もかかるし、それなら、まとめられる高校はまとめて、余ってきた費用をまた別の方法で子どもたちに使えるようにしてほしい。
219	専門性や規模など、高校の将来に備えた充実の見通しを検討してほしい。
220	その際交通手段に何らかの融通がほしい。難しいことはわからないが、人数が少ない以上、成り立たない。選択できないではどうかと思うので、統廃合等は仕方がないと思う。ただ遠くなると通学手段が厳しくなるので、援助的なものがあるとありがたい。
221	現在学舎制にする方向で考えているようだが、部活動など、校舎が遠すぎて移動に時間がかかることはどう考えているのか。不便さの多い気がする。教員の移動もロスタイムだと思う。
222	分校を、宮津高校、峰山高校、網野高校の人数が減って、空き教室ができるなら、科を置いて受け入れれば良いと思う。
223	長期休暇が減ったとしても、同じ場所で同じように教育を受けられるようにすることが良いと思う。始業を遅らせるなど配慮も必要。都市部と比較して、学費以外の費用の負担が大きすぎる(交通費)のため、補習対象者枠を増やし、親の負担を軽減し、子どもたちが望む教育を受けられるようにしてほしい。学舎制よりも、同じ場所で同じように教育を受けられる方が良いと思う。

	記述内容
224	子どもが減っていくに伴い、統廃合はやむを得ないと思う。しかし、北部の地域は公共交通機関が少ないため、スクールバスや交通費の軽減など検討をお願いする。
225	もっと近くに専門的なことが学べる学科があれば良いと思う。
226	通学の利便性を考えると難しい問題だが、子どもたちが広い意味で学ぶためには、学校規模を確保することも必要であると思う。
227	通学の交通手段をもう少し何か増やせないものかと思う。
228	現在取り上げられている「学舎制」は中途半端な施策だと思う。「学舎制」で2校を統合しても、両学舎の生徒は一体感もなく、結局2校分立と同じ状態で、部活動や学校行事で不便になるだけではないか。与謝野町から高校がなくなるのは寂しいことだが、生徒のことを考えれば、一校にまとめて、1学年6～7クラス規模の学校をつくるべきだと思う。
229	生徒数が減少しているので仕方がないと思うが、選択肢が広がるように、子どもたちが伸びよるような教育を。でも、交通が不便なことも考えてほしい。
230	地域活性化に学力は必要である。また、帰郷できる就職先も充実していなければならないと思う。そういうことを考えると、質の高い教育を受けられる学校づくりが大切かと思う。良い高校には遠くでも通う。通いやすい交通の便が確保されている地域であることも重要だと思う。
231	少子化によって現状は維持できないことは理解できた。学舎制が推進されていることもわかるが、高卒後の進路選択を制約させるような事態になることは困るので、それぞれの進路（就職～一般大学～最高学府進学）に対応できるようにしてほしい。
232	高校の数が多いと教師の数も必要となる。質の高い教育を受けさせようと思っても、それが担保できないと思う。また、少数になってしまうと人間関係が濃くなってしまい、狭い視野になってしまうのではないかと危惧する。高校時代に多くの人と触れあうことは大切な経験だと思うので、少数にならない編成が良いように思う。
233	分校は現在丹後地域に3校あるが、1校に統合して充実した分校をつくっても良いと思う。
234	将来的に魅力ある学科、社会へ出てためになる教育であるべき。学んだことが役に立たないことが多いのでは。
235	教育水準を上げることを考えて、高校の在り方を考えてほしい。子どもの数が少ないということで、丹後全体の教育水準が低下していくようでは困る。思い切った改革とともに、全国のモデルになれるような工夫をして、子どもの丹後の将来を考えてほしい。
236	昔は、地域の高校に行くという考えに基づいて、各地域に高校があったというのが常識だったが、現在は地域の高校に行くというよりは、本人の学力や進路希望により選択していくのが当たり前になっていることを考えると、子どもたちがより良い環境で学習できるよう、統廃合していくべきではないかなと思う。多少の通学時間は今でもやむを得ないと思っている。
237	統廃合について、ある程度案が固まっているのなら反対する住民もあると思うが、橋立中学校と養老中学校のように、数名になるまで延ばして、ギリギリで統廃合するのではなく、ある一定でした方が、子どものためにもなると思う。友人関係や受検等のことも考えて。
238	通学手段の確保と通学にかかる交通費が安く済むように、手立てをしてやってほしい。
239	子どもの将来のため、早くからいろいろな教育内容を取り入れ、専門的な高校と普通科とに分けたら良い。
240	統廃合をすることで、学力の高低差の幅が広がると思う。その差が少なくなるためにも、中学校での学力の向上が求められるのではと、思う。丹後地域では宮津高校が進学校で、学力が高いとされているが、差が広く、学校判断となる偏差値では、全国レベルでは下の方である。大学全入時代となるので、もっと学力を上げるべきだと思う。
241	府立だけでなく、私立とのバランスも考えた方が良いと思う。
242	学舎制では学校教育面で不安がある。第一に子どものことを考えるのは当然なのだが、子どもたちを取り巻く状況も変わっていくので、多角的に考えてほしい。
243	地元市町に高校は必要だとは思いますが、統廃合により教育内容の充実も必要だと思う。普通科は必要。じっくり進路を考えるようにすることも必要だと思う。
244	都会と違い、電車・バス等の交通量が少ないので、机の上だけの考えでなく、地元の人の身になって、いろいろな面で考えてほしい。
245	地域の大人のエゴを優先したことによる学舎制などナンセンスだと思う。例えば、誰が加悦谷高校へ行き、宮津高校へ行くのか。生徒のモチベーションの低下や部活動への影響が大きい。1つの学校に統廃合すべきだと思う。
246	学舎制は移動時間に無理があり現実的でない。無駄が多すぎる。進学ありきの指導は疑問。地元に残って就職してもらわないと人口が少なくなるばかり。
247	人口減少、産業のほとんど発展の見込めない地域において、教育は日本全国で実践できるものである。教育特区化を進めてほしい。教員を集中させるためにも、学舎制には反対
248	子どもが少なくなっている現状、定員を減らすのではなく、点数制にすれば良いのではないか。ボーダーラインをつくるべきではないか。学校の質を落とさないために。
249	統合で子どもが多くなりすぎて、充実が与えられないなら、そのままでも良いと思う。